

業 種	鉄道・軌道
取組分野	その他
テーマ	津波発生時の避難誘導に関する取組み
取組の狙い	津波発生時の避難誘導の補助手段となる「津波避難ナビシステム」を開発し、土地に不慣れな乗務員であっても、乗客を最寄の津波避難施設まで迅速に誘導できるよう災害時の対応力強化を図る。
具体的内容	<p>1 東日本旅客鉄道(株)では、東日本大震災での教訓を踏まえ、津波注意区間の始末端標の整備、津波対応のルール・マニュアルの制定、津波を想定した避難訓練等、津波への対策を実施している。</p> <p>2 そのような対策の1つとして、津波発生時、列車運行中の乗務員が乗客の避難誘導を実施する際、所持しているタブレット端末を使用し、土地に不慣れな場所での誘導を補助する「津波避難ナビシステム」を開発した。</p> <p>3 津波避難ナビシステムの特徴は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> • あらかじめ地図データをタブレット端末にダウンロードするシステムのため、大地震が発生し通信が途絶えた場合でも使用できる。 • タブレット端末のGPS位置情報およびコンパス機能を活用することで、現在地と自分の向いている方向を把握できる。 • 分かれ道などのわかりづらい箇所については、現地の写真と行き先の方向を登録しており、画面をタップすることによりそれらが写し出され、不慣れな場所でも迷わず避難誘導ができる。
取組の効果	避難訓練において、安全な場所をすぐに見つけられるようになり、避難誘導がしやすくなったという声が社員から挙がっている。
事業者名	東日本旅客鉄道(株) 鉄道事業本部 安全企画部 (連絡先：03-5334-1111)

